

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センターめぐみ（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	2026年 1月30日		～ 2026年 2月 13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	2026年 1月30日		～ 2026年 2月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・敷地が広く、完全バリアフリーの利用スペースがある。	・主たる利用児が重症心身障害児であるため、広いスペースを活かして感染症対策等に取り組んでいます。	・事業所内での様子を、SNS (LINE・Facebook) を通じて、ご家族に情報を提供しているが、快表情が見られた際のみでなく、本人の成長が感じられた場面や、その他気付いた点などの報告にも活用していく。 ・施設周辺の自然を体感してもらえる取り組みを増やします。
2	・看護師が常勤で配置しているため、医療的ケアの必要な児にも対応が可能。	・特別支援学校の現場実習を積極的に受け入れ、医療的ケア児の卒後の居場所として、安心してご利用いただけるように努めている。	・現状 医療的ケア児の受け入れが可能であるが、今後も引き続き受け入れ態勢を充実させていく。
3	・同一事業所にて生活介護も行っているため、児童発達支援⇒放課後等デイサービス⇒生活介護と、切れ目のない支援が提供できる。	・利用者本人の体調変化（悪化）や、生活環境の変化があった場合でも、同一敷地内に療養介護施設があるため、療養介護への移行を円滑に行うことが可能。	・利用者が利用している他の事業所と定期的に情報交換を行い、利用者の日頃の状況を把握した上で、生活の質の改善に努める。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・事業所の所在地が、県庁所在地から離れた過疎地域にあり、更に幹線道路から入り込んだ山の上の高台にあることから、場所が分かりにくい。	・施設の認知度が低いため、施設のPRや地域とのつながりを持つ必要がある。	・SNS の活用や地域との交流会を再開する。
2	・主たる利用者を重症心身障害児としているため、他の障害児の受け入れが難しい。	・重症心身障害児以外の障害児に対応できる職員の不在や、設備が不足している。	・新たな職員の採用や育成、利用スペースの確保を行い、一元化を実現できる態勢作りが必要。
3	・保護者を交えた家族間交流等ができていない。	・現在の利用児が 2名と、少ないため。	・保護者やきょうだい児が参加できるような交流会やイベント等を検討する必要がある。 ・今年度ボランティア公演の再開が出来たため、今後は保護者間の交流が可能ではないかと思われる。

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童発達支援センターめぐみ	公表日	2026年2月27日	利用児童数	2名	回収数	2
チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	2					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	2					
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	2					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	2					
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	2					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	2					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	2					
11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。		1		1		感染対策等の課題があり今後も交流会等の実施は難しいと考えている。	
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2					
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	2					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	2					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		1		1		今年度、ボランティアの受け入れが再開できたためボランティア公演をする際、保護者も招き、交流の場が設けられればと思う。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2					
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	2					
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	2					
22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	2						
非常 時 等 の 対 応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2					
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1	1				生活介護事業の中では、避難訓練等実施できたが、放デイ利用時間中は時間帯や職員数の確保が難しいため、長期休暇中に訓練を行い周知していく。
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2					
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	2					
満足 度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	2					
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	2					
	29 事業所の支援に満足していますか。	2					

